11　様　式　一　覧

11　各種様式一覧

（各種様式一覧）

様　　式	適 用 条 項	書　　類　　名	ページ
様式第１号	施行規程第２条関係	給水装置所有者代理人選定･変更届出書	11-3
様式第２号	施行規程第３条関係	給水装置管理人選定･変更届出書	11-4
様式第３号	施行規程第４条関係	給水装置工事申込書	11-5
様式第４号	施行規程第４条関係	支管分岐承諾書	11-6
様式第５号	施行規程第４条関係	土地使用承諾書	11-6
様式第６号	施行規程第４条関係	給水装置撤去･変更承諾書	11-7
様式第７号	施行規程第４条関係	支管分岐給水装置撤去･変更承諾書	11-8
様式第７号の２	施行規程第４条関係	私有計量設備等の設置に係る誓約書	11-9
様式第８号	施行規程第５条関係	給水装置工事設計書	11-10
様式第９号	施行規程第６条関係	給水装置完成届出書	11-11
様式第 17 号	施行規程第２条関係	水道料金特例申請書	11-12
別記様式第1号	第2項関係	中･高層階直結給水申請書	11-13
		別記様式第1号に伴う添付書類	11-14
別記様式第２号	第2項関係	特定施設水道直結式ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設置申請書	11-15
		別記様式第２号に伴う添付書類	11-16
別記様式第３号	第2項関係	学校施設直結給水申請書	11-17
		別記様式第３号に伴う添付書類	11-18
様式ア	2.1.2 (4) 関係	寄 付 採 納 願	11-19
様式イ	2.1.2 (4) 関係	寄 付 採 納 届	11-20
様式ウ	2.1.2 (9) 関係	受水槽以下設備台帳	11-21
様式ウ-①	8.4.3 (3) 関係	自家水混合給水誓約書	11-22
様式エ	2.1.2 (10) 関係	受水槽以下設備申請書	11-23
様式オ	2.1.2 (11) 関係	自家用給水設備切替承認願	11-24
〃	〃	自家用給水設備切替　添付用	11-25
様式カ	2.1.2(13)①関係	水圧低下、出水不良誓約書	11-26
様式ク	2.1.3 関係	給水装置工事申込みの取消願	11-27
様式ケ	2.2.10 関係	加入者納付金後納申請書	11-28
様式コ	2.6.1 関係	浄水器等設置申請書	11-29
様式サ	5.6 関係	自己認証品使用報告書	11-30
様式シ	5.6 関係	特殊器具取付に関する誓約書	11-31
様式ス	5.2.3 (4) ①関係	造成地の所有権移転の確認書	11-32
様式セ	5.3-1 関係	メーター設置に関する特例申請書	11-33
様式ソ	施行規程第５条関係	給水装置工事設計書(集合住宅用)	11-34
様式タ	2.1.2 関係	給水装置工事変更届出書	11-35
様式チ	10.2 関係	分岐･撤去工事主任技術者チェック表	11-36
様式ツ	10.2 関係	主任技術者チェック表	11-37

様式テ	2.1.2(5)	第三者からの異議申立てに関する誓約書	11-38
様式ト	2.4.2(5)	既設未確認給水設備の破損事故に関する念書	11-38
市関係①		道路占用許可書	11-39
市関係②		道路交通規制	11-40
		交通規制に添付する確認書	11-41
市関係③	様式第4号(第6条関係)	法定外公共物各種届出書　表	11-42
		法定外公共物各種届出書　裏	11-43
県関係①	様式第 5 (第四条の三関係)	道路占用許可申請・協議	11-44
県関係②		道路交通規制	11-45
県関係③		河川添架(伏越)許可申請書　表	11-46
		河川添架(伏越)許可申請書　裏	11-47
県関係④		国有土地使用許可願	11-48
県関係⑤	様式第 1 号(その 2)	港湾施設使用許可申請書	11-49
県関係⑥	様式第2号 (境港管理組合)	工作物設置(改築、移転、除去)許可申請書	11-50
県関係⑦	様式第 5 号 (境港管理組合)	工事着手(完成)届	11-51
県関係⑧		道路使用許可申請書	11-52
県関係⑨		公共施設予定地使用許可申請書	11-53
その他①		オートロック解錠(変更)届	11-54

様式第１号（第２条関係）

受付番号＿＿＿＿＿＿＿＿

給水装置所有者代理人選定・変更届出書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

給水装置所有者　住所

氏名　　（印）

下記のとおり、届け出ます。

給水場所		
建物の名称		
お客さま番号		
新代理人	住　　所	（電話番号　　）
	（ふりがな） 氏　　名	（　　） （印）
旧代理人	住　　所	（電話番号　　）
	（ふりがな） 氏　　名	（　　） （印）
異動の理由		
備　　考		

備考　給水装置所有者及び新旧代理人が氏名を自署する場合には、それぞれの押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第２号（第３条関係）

受付番号＿＿＿＿＿＿＿＿

給水装置管理人選定・変更届出書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

届出者　住所

氏名　　(印)

住所

氏名　　(印)

住所

氏名　　(印)

※届出者及び新旧管理人が氏名を自署する場合には、それぞれの押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

下記のとおり、届け出ます。

給水場所		
建物の名称		
お客さま番号	第　　号	
新代理人	住　　所	(電話番号　　)
	(ふりがな) 氏　　名	(　　) (印)
旧代理人	住　　所	(電話番号　　)
	(ふりがな) 氏　　名	(　　) (印)
異動の理由		
料金の滞納	有　・　無	

様式第３号（第４条関係）

決裁	課長	担当 課長補佐	合議	主査	受付

承認番号＿＿＿＿＿＿＿＿　　受付:　　年　　月　　日

給水装置工事申込書

米子市水道事業管理者様

現住所

ふりがな

申込者　　(印)

電話番号

米子市水道事業給水条例(平成17年米子市条例第192号)第8条第1項の規定により下記の工事を申し込みます。

工事の場所	番地
ふりがな	
使用者	
工事の種類	新設・改造・修繕・撤去・口径変更・臨時
給水用途	□ 1 一般　□ 2 浴場　□ 3 官公署 □ 4 学校　□ 5 病院　□ 6 事務所 □ 7 営業　□ 8 工場　□ 9 その他
工事施行業者 (水道局指定給水装置工事事業者)	
工事完成予定日	年　月　日
摘要	

添付書類			
□ 1 利害関係同意書	□ 2 出水不良誓約書	□ 3 支管分岐承諾書	□ 4 土地使用承諾書
□ 5 自家用切替願	□ 6 自家用切替念書	□ 7 所有権移転確認	□ 8 寄付採納願
□ 9 代理人選定届出	□10 中高層階申請書	□11 口径不足誓約書	□12 撤去承諾書
□13 受水槽設置申請	□14 私有計量誓約書	□15 浄水器設置申請	□16 その他

備考 1 申込者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。
2 工事の申込みに際しては、あらかじめ当該土地家屋所有者の承諾を得てください。
3 工事の場所は番地まで正確に記入し、かつ使用者名はふりがなを正しく記入してください。
4 給水用途はよく調査のうえ、分類表に基づいて記入してください。
5 摘要は、事前協議で水道局から特に指示があった事項を記入してください。
6 添付書類の欄は、該当番号に ☑ 又は ■ とし、必要な添付書類の記入欄に必要事項を記入してください。

様式第４号（第４条関係）

支　管　分　岐　承　諾　書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者様

給水装置所有者　住所

氏名　　(印)

下記の私が所有する給水装置に接続して支管を分岐することを承諾します。

記

給水装置所在地		水栓番号	
分岐給水場所		水栓番号	
使用者氏名			

備考　給水装置所有者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。
　　ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第５号（第４条関係）

土　地　使　用　承　諾　書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者様

土地所有者　住所

氏名　　(印)

下記の私所有の土地を ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 番地 ＿＿＿＿＿＿＿＿ の給水装置工事の施行に当たって掘削し、および水道管布設のため使用することを承諾します。

所在地

水栓番号

土地面積　長さ：＿＿＿＿＿＿＿＿　幅：＿＿＿＿＿＿＿＿　平方メートル

備考　給水装置所有者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。
　　ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第６号（第４条関係）

給水装置　撤去・変更　承諾書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申請者　住所

氏名　　（印）

下記給水装置の 撤去／変更 工事の施工については、異議なく承諾します。

なお、撤去工事施行後は、加入者納付金の権利が消滅することについても、承諾します。

撤　去 変　更	給水装置設置場所	
	水　栓　番　号	
分 岐	給水装置設置場所	
	水　栓　番　号	
摘　　要		

備考　申請者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。
　　ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第７号（第４条関係）

支管分岐給水装置　撤去・変更　承諾書

年　　月　　日

氏 名　　様

支管分岐者
土地占用者
住所
氏名　　㊞

下記給水装置の 撤去／変更 工事の施行については、異議なく承諾します。

なお、撤去工事施行後は、加入者納付金の権利が消滅することについても、承諾します。

撤　去 変　更	給水装置設置場所	
	水　栓　番　号	
分 岐	給水装置設置場所	
	水　栓　番　号	
摘　　要		

備考　支管分岐者又は土地占用者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第７号の２ （第４条２項(4)関係）

年　　月　　日

私有計量設備等の設置に係る誓約書

米子市水道事業管理者　様

申　請　者住所

（設置者）氏　名　　(印)

電話番号

下記の給水装置に私有計量設備等を設置するに当たり、水道局においては当該私有計量設備等による使用水量の計量等が行われないことを了承するとともに、下記の条件を承諾することを誓約します。

給水装置	所在地	
	水栓番号 (お客さま番号)	
設置する私有計量設備等	口径	
	個数	
	設置理由	

記

1 私有計量設備等の設置に係る工事は、米子市水道局指定工事事業者が施工すること。

2 私有計量設備等の設置及び維持管理に関する一切の費用は、設置者(所有者)が負担すること。

3 私有計量設備等の本体は、青系統以外の色とすること。

4 使用水量の管理用その他として、必要最小個数設置するものとすること。

5 設置に伴って発生した計量に関する問題については、設置者(所有者)の責任において処理し、水道局(又は市村)へ異議を申し出ないこと。

6 上記のほか、私有計量設備等の設置に関して水道局（又は市村）から指示があった場合は、その指示を守ること。

7 私有計量設備等の設置者（所有者）を変更するときは、上記事項について譲渡人に継承すること。

備考　設置者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

様式第８号（第５条関係）

水栓番号			受付	年　月　日	□設計書
			着工	年　月　日	□精算書
年度	承認番号	第　号	完成	年　月　日	
		年　月　日	工種	新設・改造・修繕・撤去・口径変更・臨時	

ふりがな		ふりがな	
申込者氏名		使用者氏名	
住所	（電話番号　　）	住所	（電話番号　　）

配水管の種類	給水方式	指定給水装置工事事業者名
管φ　mm 管φ　mm　分岐 分岐済	□直結 □中・高層階直結給水 □受水槽方式 □　その他 （　　）	TEL　　（印） 給水装置工事主任技術者 （　　） 〔免許番号　　〕
給水開始　年　月　日		
型式 / 口径 / 番号 / 指針	給水用途番号	

私有地部分					公道地部分				
品名	口径	数量	商標名	規格番号等	品名	口径	数量	商標名	規格番号等
						口径		金額(円)	
					設計審査及び工事検査手数料				
					加入者納付金				

特記事項	検査員	検査日
土 支 口 寄 念 P 直 増 貯 特 誓 浄		年　月　日

備考　個人事業者である指定給水装置工事事業者が代表者の氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。なお、法人については、記名押印が必要です。

様式第９号（第６条関係）

決裁	課長	担当 課長補佐	合議	主査	受付

年　月　日

給水装置完成届出書

米子市水道事業管理者　様

指定給水装置工事事業者
所在地

名　称
（印）

下記のとおり完成しましたので、届け出ます。

記

①給水装置所在地						
②給水使用者						
水栓番号			栓数			
着工及び完成年月日	着工	年　月　日				
	完成	年　月　日				
検査結果		承認番号		検査年月日	検査印	
		年　月　日		年　月　日		

※個人事業者である指定給水装置工事事業者が代表者の氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。なお、法人については、記名押印が必要です。

様式第17号（第17条関係）

課　長	担当課長補佐	合　議	主　査	受　付	電算入力

水道料金特例申請書	受付	第　　号 年　月　日

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申請者　住所

氏名　　(印)

※申請者が氏名を自署する場合には、その押印を省略することができます。ただし、法人その他の団体については、記名押印が必要です。

下記のとおり、水道料金算定の特例を申請します。

使用場所			
使用者	(電話番号　　)		
建物の名称			
お客さま番号		口径	ミリメートル
年　月　日現在	入居可能戸数	戸	
	実入居戸数	戸	
適用年月	年　月分から	適用戸数	戸
備考			

別記様式第1号（第2項関係）　　(3 部作成のうえ、水道局、申込者、施行業者で各 1 部ずつ保管)

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

給水装置工事申込者
住　所
氏　名　　印

中・高 層 階 直　結　給　水　申　請　書

「中・高層階直結給水の特例措置」に基づき給水装置の構造設計をしましたので直結給水の可否について許可をお願いします。

記

1　建築物の設置場所
　米 子 市
　境 港 市　　町　　丁目　　番　　号
　日吉津村
2　建築物の概要
　「新　設、既　設」　　「　　階建」
3　添付書類
　(1) 位置図
　(2) 給水装置構造設計図
　(3) 水理計算書
　(4) 配水管から※階給水栓までの縦断図面
　(5) 水圧記録紙

給　水　装　置　の 概　要	
概　要　事　項	内　　容
(1) 専用住宅、集合住宅の別	□専用住宅　□集合住宅　□業務用ビル
(2) 給　水　戸　数	用途内容　住　宅　　戸 店　舗　　戸 事 務 所　　戸 そ の 他　　戸 合　計　　戸
(3) 1 日 最 大 使 用 量	m^3／日
(4) 給水管の口径 及びメーター口径	給水管の口径　　mm メーター口 径　　mm
(5) 給水装置の場所及び 周辺の水圧	(1) 測定場所　(　　) 測 定 日　(　　年　　月　　日) 最低水圧　(　　MPa) (2) 測定場所　(　　) 測 定 日　(　　年　　月　　日) 最低水圧　(　　MPa)

申込時、増圧設備の仕様書、点検業者名の記載されたものを提出すること。

別記様式第1号　中高層階直結給水申請書に伴う添付書類

誓　　約　　書

給水装置の申込みにあたり、安定給水のためには、受水槽方式が望ましいとのことですが、次のことを誓約しますので特例として直結給水を承認いただきますようお願いします。

記

1 将来とも出水不良についての苦情や給水装置等の問題についての料金の滞納はいたしません。
2 出水不良となった場合は、当方の責任において受水槽の設置等の適切な改善を行ないます。
3 断水工事等には、全面的に協力し苦情の申出はしません。
4 負圧の発生による機器の破損等については、当方の責任として苦情の申出はしません。
5 その他、給水装置内のことは、すべて当方の責任で処理します。
6 本誓約は給水装置の所有者が代わっても、引き継ぐこととします。
7 オートロック解錠方法届を提出し、当該建築物内に水道業務のための立入りを許可します。

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申込者

住　所

氏　名　　印

年　　月　　日

様

米子市水道事業管理者　印

直 結 給 水 の 申 込 み に か か わ る 通 知

年　　月　　日に申込みのあった、直結給水については｛許　可／不許可｝します。

意　見（施行条件）

市長に対しこの処分に不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 60 日以内に、米子市長に対して審査請求をすることができます。

また、この処分に不服がある場合は、前項の審査請求を経ることなく、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、米子市（代表者は米子市長）を被告として、裁判所に処分の取消しの訴えを提起することもできます。

別記様式第２号（第2項関係）　　（3 部作成のうえ、水道局、申込者、施行業者で各１部ずつ保管）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申込者（給水装置所有者）
住　所
氏　名　　印

特 定 施 設 水 道 直 結 式 スプリンクラー設 備 設 置 申 請 書

下記のとおり、水道直結式スプリンクラー設備を設置したいので、確約事項を承諾のうえ申請いたします。

記

１　建築物の設置場所
米 子 市
境 港 市　　町　　丁目　　番　　号
日吉津村

２　建築物の概要
(1) 建 築 物　新 設 ・ 既設 （水栓番号　　）
(2) 建物用途
(3) 給水方式　直 圧 ・ 増 圧 ・ 直圧、貯水槽兼用
(4) 延床面積　　㎡
(5) 建物階層　地上　階建　地下　階
(6) スプリンクラーヘッドの種類及び最大放水量　　放水量　　ℓ/分
(7) 給水管及び水道メーター口径　給水管の口径　　mm　水道メーター口径　　mm

３　建築主　住所
氏名

４　指定給水装置工事事業者
主 任 技 術 者 氏 名

５　消防設備士免状（種別・番号）及び氏名
種別　　番号
氏名

６　添付書類
(1) 位置図
(2) 給水装置構造設計図
(3) 水理計算書
(4) 配水管から※階給水栓までの縦断図面
(5) 水圧記録紙

別記様式第２号　スプリンクラー設備設置申請書に伴う添付書類

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申込者（給水装置所有者）
住　所
氏　名　　印

水道直結式スプリンクラー設備設置に係る承諾書（確約事項）

給 水 装 置 設 置 場 所

消　防　設　備　士　名

指定給水装置工事事業者

水道直結式スプリンクラー設備の設置にあたり、指定給水装置工事事業者及び消防設備士から十分に説明を受けましたので、当方が適正に維持管理することを誓約し、下記の事項について承諾いたします。

記

1　災害その他正当な理由によって、一時的な断水や水圧低下等により水道直結式スプリンクラー設備の性能が十分に発揮されない状況が生じても、水道事業者に責任がない旨を了知し、水道局に対し異議・要求は一切いたしません。

2　水道直結式スプリンクラー設備が設置された家屋、部屋を賃貸する場合には、上記1　のような条件付きである旨を借家人等に熟知させます。

3　水道直結式スプリンクラー設備の火災時以外における作動及び火災時の非作動に係る影響に関する責任は水道事業者が負わない旨を了知します。

4　水道直結式スプリンクラー設備設置に係る利害関係人からの異議申し立てについては所有者の責任において解決します。

5　水道直結式スプリンクラー設備の所有者を変更するときは、上記1～4の事項について譲受人に熟知させます。

別記様式第3号（第2項関係）　　(3 部作成のうえ、水道局、申込者、施行業者で各 1 部ずつ保管)

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

給水装置工事申込者
住　所
氏　名　　印

学 校 施 設 直 結 給 水 申 請 書

「学校施設直結給水の特例措置」に基づき給水装置の構造設計をしましたので直結給水の可否について許可をお願いします。

記

1　建築物の設置場所
　米 子 市
　境 港 市　　町　　丁目　　番　　号
　日吉津村
2　建築物の概要
　「新　設・既　設」　「　　階建」　「水栓番号　　」
3　添付書類
　(1) 位置図
　(2) 給水装置構造設計図
　(3) 水理計算書
　(4) 配水管から※階給水栓までの縦断図面
　(5) 水圧記録紙

給　水　装　置　の 概　要

概　要　事　項	内　　容
(1) 工　事　場　所	□本校舎　□特別教室　□他施設
(2) 給　水　内　容	用途内容　生　徒　人 職　員　人 受 水 槽　m^3 高置水槽　m^3 プ ー ル　m^3
(3) 1 日 最 大 使 用 量	m^3／日
(4) 給水管の口径 及びメーター口径	給水管の口径　mm メーター口 径　mm
(5) 給水装置の場所及び 周辺の水圧	(1) 測定場所　(　　) 測 定 日　(　年　月　日) 最低水圧　(　MPa) (2) 測定場所　(　　) 測 定 日　(　年　月　日) 最低水圧　(　MPa)

申込時、増圧設備の仕様書、点検業者名の記載されたものを提出すること。
別記様式第3号　学校施設直結給水申請書に伴う添付書類

誓　　約　　書

給水装置の申込みにあたり、安定給水のためには、受水槽方式が望ましいとのことですが、次のことを誓約しますので特例として直結給水との併用を承認いただきますようお願いします。

記

1 出水不良となった場合は、当方の責任において受水槽給水の範囲を変更する等適切な改善を行います。
2 断水工事等には、全面的に協力し苦情の申出はしません。
3 負圧の発生による機器の破損等については、当方の責任として苦情の申出はしません。
4 その他、給水装置及び給水設備内のことは、すべて当方の責任で処理します。
5 受水槽以下の給水設備は米子市水道局の条例、規程、要綱により設置します。
6 受水槽の維持管理においても各法に基づき適正に管理します。
7 給水設備の改造においても給水装置に準じて工事申込みをし、工事承認後に施工します。

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申込者

住　所

氏　名　　印

年　　月　　日

様

米子市水道事業管理者　印

直 結 給 水 の 申 込 み に か か わ る 通 知

年　　月　　日に申込みのあった、直結給水については｛許　可 / 不許可｝します。

意　見（施行条件）

市長に対しこの処分に不服がある場合は、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 60 日以内に、米子市長に対して審査請求をすることができます。

また、この処分に不服がある場合は、前項の審査請求を経ることなく、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、米子市（代表者は米子市長）を被告として、裁判所に処分の取消しの訴えを提起することもできます。

様式ア（2.1.2（4）関係）

年　　月　　日

寄　付　採　納　願

米子市水道事業管理者　様

寄付の申請者　住　　所
氏　　名　　㊞

土地の所有者　住　　所
氏　　名　　㊞

今般下記地区に開発行為をするにあたり、同時に施工する給水管工事について、公道部分及び公道認定を申請又は協議中の部分に埋設した、下記の給水管及び附属施設は、完成後水道局に無償寄付いたしますので、寄付採納届（様式イ）の受理後は、水道局の資産として採納をお願いします。

なお、当該道路が公道として未認定中であっても、道路部分を掘削する必要が発生した場合は、全面的に協力し苦情の申し立ては致しません。

記

1　場　　所

2　施　設　の　内　容

名　　称	形 状 寸 法	数　量	摘　要

3　添　　付　　書　　類　設計書、現場位置図、図面

様式イ（2.1.2（4）関係）

年　月　日

寄　付　採　納　届

米子市水道事業管理者　様

申請者　住　所
氏　名　　㊞

下記について、無償寄付したいので採納くださるようお願いします。

記

1　道　路　路　線　名

2　公道認定年月日　　年　月　日

3　施　設　の　内　容

名　称	形状寸法	数　量	単位	金　額	摘　要

4　工事完成年月日　　年　月　日

5　工事完成検査年月日　　年　月　日

6　添　付　書　類　　精算書、現場位置図、管割詳細図、公道認定申請書の写し

様式 ウ（2.1.2(9) 関係）

水栓(お客様)番号　　号

受水槽以下の給水設備設置届(兼)設備台帳

設置場所			階
施設の名称		施工年月日	
所有者	(住所･氏名)		
使用者	(住所･氏名)		
メーター	(一括メーター口径)　mm　(各個私有メーター)　mm　個		
使用目的	1 事務所　2 店舗　3 住宅　4 共用		
消火施設	有　1 一括メーター経由　2 私有メーター経由　3 メーター不経由		無

受水槽（1 水道　2 自家水混水）		高置水槽		加圧ポンプ	
水槽容積	m³(　×　×　)	水槽容積	m³	揚水管 管種	
有効水量	m³(　基　層)	有効水量	m³(　基　層)	揚水管 口径	口径　mm
材質	FRP　鋼板	材質	FRP　鋼板	揚水量	ℓ／分
設置場所	屋外　屋内　地下	設置場所	屋外　屋内	―	―
流入管	口径　mm	流入管	口径　mm	付帯設備	
ボールタップ	口径　mm	ボールタップ	―		
溢流管	口径　mm	溢流管	口径　mm	警報装置	有　無
ドレン	口径　mm	ドレン	口径　mm	直圧水栓	有　無
逆流防止措置	吐水口空間　mm 負圧破壊装置等（有　無）	―	―	その他	

浄水設備（自家水混水のみ）	
浄水方法	1 塩素消毒　2 除鉄　3 除マンガン　4 急速ろ過　5 緩速ろ過　6 膜ろ過 7 処理なし
浄水機器	製品名及び仕様（　　）

＜添付書類＞

○ 受水槽及び架台の構造図
○ 浄水機器システムの仕様書
○ 加圧または揚水システムの仕様書
○ 自家水混合給水の場合は、別に定める申請及び関係書類
○ その他水道局が提出を求めた書類

様式 ウ-①（8.4.3（3）自家水混合給水誓約書）

自家水混合給水に関わる誓約書

年　　月　　日

米子市水道局水道事業管理者　殿

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

浄水処理した地下水を受水槽に流入させて、水道水と混合して給水する方式（自家水混合給水方式）を導入するにあたり、下記について誓約いたします。

記

1. 受水槽に貯留した地下水と水道水の混合水が水道本管等に逆流しないよう確実な措置を講じます。＊図面並びに写真提出
2. 水道水に停滞を生じさせないよう水道計画水量（㎥／日）を設定し水道水を流入します。また、実水量が大幅に増減する場合は、水道局に報告するとともに給水装置の増・減径改造工事等の措置を講じます。
3. 水道計画使用量は水道局と協議し決定します。（計画水量の 20%を下限とする）
4. １年以内に１回以上の受水槽清掃、水質検査を行い、異常が認められた場合は水道局に報告します。
5. 自家水混合給水方式を導入により発生する問題（近隣との調整含む）、受水槽以降の水質に関してはすべて設置者又は管理者の責任で対処いたします。

お客様番号		
施設名称		
施設住所		
受水槽	容量　　㎥　　基	
自家水処理方法		
逆流防止装置		
計画使用水量	（全体）　　㎥／日	（水道）　　㎥／日　　%

様式エ（2.1.2(10) 関係）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申請者　住　所

（設置者）氏　名　　㊞

建物の所在地

建　物　の　名　称

受水槽以下の給水設備設置申請書

上記の建築物にかかる受水槽以下の給水設備を、下記の条件で施行、設置したいので申請します。

記

1　受水槽以下の給水設備は米子市水道事業給水条例、米子市水道事業給水条例施行規程及び取扱要綱により設置する。
2　受水槽以下の給水設備の管理に関しては、水道法による簡易専用水道としての規制や建築物における衛生的環境の確保に関する法律の規制、また米子市水道事業給水条例により設置者が責任をもって行う。
3　工事完成後に受水槽以下の給水設備工事を施行するときは、給水装置工事に準じて承認を受け、承認後施工する。
4　管理の適正な実施を確保するため、米子市水道事業管理者が必要があると認めるときは、受水槽以下の給水設備についての立入検査に協力する。また、改善の指示等ある場合には、指示に従い必要な措置を講ずる。
5　前項の措置に要した費用は、設置者の負担とする。
6　各戸に私有計量設備等を設置するときは、その維持管理は設置者が正しく責任を持って行うものとし、集合住宅の検針および料金調定については、水道局が設置した一括メーターのみで行う。
7　上記の各項目については、各戸の給水使用者に周知徹底を図るとともに受水槽以下の給水設備について問題が生じたときは、設置者の責任において解決する。
8　受水槽以下の管理責任を果たすため、管理責任者を選定し、修繕工事を施行する者を指定する。
9　前各号に変更があったときは、速やかに届出る。

建物の管理責任者

住　　所

氏　　名　　㊞

修繕工事を施行する指定工事事業者

当社は、上記建築物にかかる受水槽以下の給水設備の保守および修繕工事を責任をもって請負います。

所　在　地

名　　称　　㊞

様式オ（2.1.2(11) 関係）

米子市水道事業管理者　様

住 所
申　込　者
氏 名　　㊞

住 所
指定工事業者
氏 名　　㊞

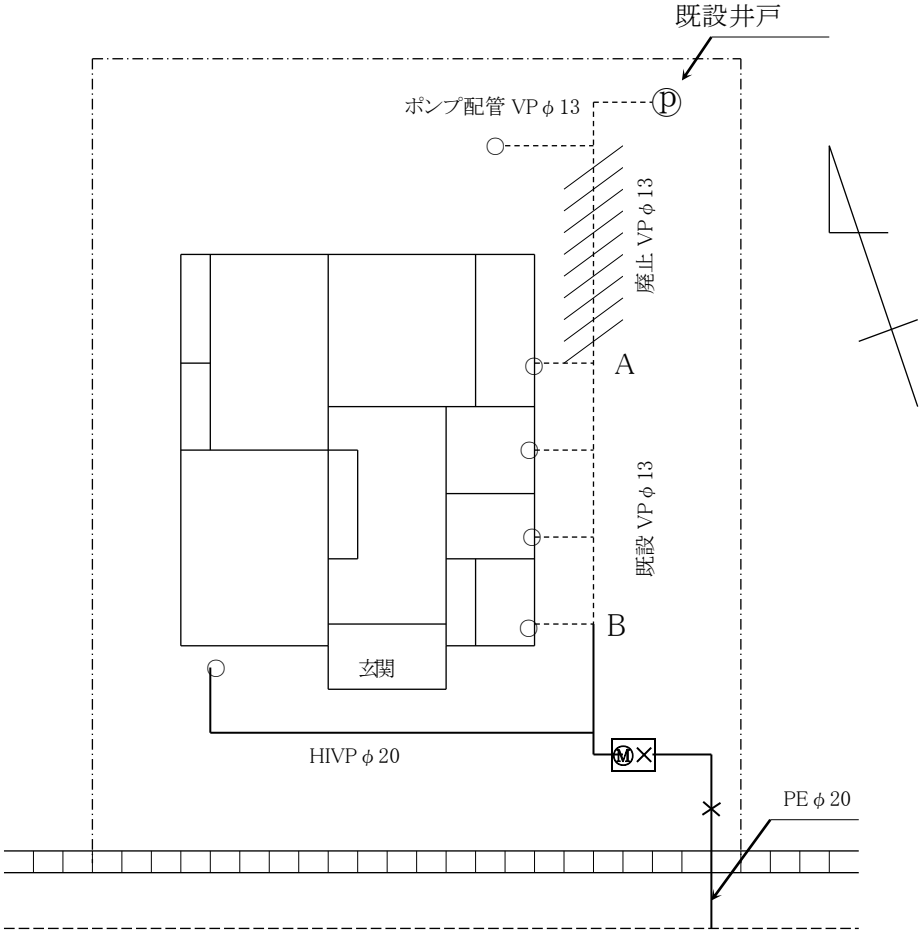
自家用給水設備切替承認願
自家用給水設備所在地
自家用給水設備施行年月日
自家用給水設備施工者　所在地 名　称
申 請 理 由
上記給水設備を給水装置として市水道の直結に切替たいので検査のうえ承認ください。 切替後は、配管、材質等については、申込者において全責任を負うことを誓約します。 年　　月　　日 申込者氏名　　㊞

様式オ　添付用

自家用給水設備切替承認願

申請配管図面（縮尺 S＝1/200）及び付近見取図　　配管図面作成例

A～B 切替承認希望



	名 称	寸法	単位	設 計	実 施	名 称	寸法	単位	設 計	実 施	名 称	寸法	単位	設 計	実 施
使用材料															

検　査	年　月　日	結　果	合格　　不合格

様式カ（2.1.2 (13) ①　関係）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

住　所
工事申込者
氏　名　　　　　　　　　　　　㊞

工 事 場 所

水圧低下、出水不良の誓約書

別紙申込書図面のとおり給水装置工事の申込みをしましたが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

のため水圧が低下し、出水不良になっても異議の申し立てをせず、自費をもって受水槽、ポンプ設備等の自家用給水設備を設置することを誓約します。

また入居者等からの苦情についても責任をもって解決し、出水不良を理由に水道料金の滞納はいたしません。

工事場所の水圧状況調査結果（地上１ｍの水圧）

水圧測定場所	町	丁目	番地	宅					
調査	年	月	日	曜日	天候	晴、	曇、	雨、	雪
9 時	MPa	18 時	MPa						
測定場所は新設場所より	m	高い	低い						
指 定 工 事 業 者	㊞								
主任技術者氏名	㊞								

注　空白欄には「高台地区のため一時的に水圧不足となる。」等理由を具体的に記入すること。

様式ク（2.1.3 関係）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

住　所
工事申込者
氏　名　　㊞

住　所
指定工事業者
氏　名　　㊞

給水装置工事申込みの取消願

許可番号	第　　号	
許可年月日	年　　月　　日	
加入者納付金	通知番号第　　号	納入済　　未納
給水装置の種類	専用　　私設消火栓	
工事の種別	新設　改造　修繕　撤去　口径変更　臨時	
設置場所		
取り消しの理由		

様式ケ（2.2.9 関係）

NO,

年　月　日

加入者納付金後納申請書

米子市水道事業管理者様

申請者住　所
（申込者）氏　名　　㊞

米子市水道事業給水条例第 43 条第 2 項の規定に基づき、加入者納付金の後納を申請します。

加入者納付金	金　額	円（量水器口径　　mm）
	納入予定日	年　月　日
工事の場所		
建築物等の名称		
工事の種別	1. 新設　　2. 口径変更　　mm →	mm
量水器取付予定日	年　月　日	
指定工事事業者名		
官公署部課係名		
摘　要		

決定事項	量水器払出日	年　月　日
	納入日	年　月　日
	水栓番号	

様式コ（2.6.1 関係）

年　　月　　日

浄水器等設置申請書

米子市水道事業管理者　　様

申　請　者住 所
（設 置 者）氏 名　　㊞
電 話 番 号

給　水　装　置	所　　在　　地	
	水　栓　番　号 （お客さま番号）	
浄　水　器　等　の　型　式　名		

浄水器等を給水装置主管部に設置するにあたり、下記の条件を承諾の上申請します。

記

（水質責任について）

1　水道局の水質責任範囲は、浄水器等の上流側までとし、これより下流は申請者（所有者）の責任で管理すること。

（維持管理について）

2　給水条例第34条「水道使用者の管理上の責任」の規定に基づき、浄水器等の使用に応じて適切な管理を行うこと。

（利害関係人への周知）

3　集合住宅等、申請者（所有者）以外の使用者がいる場合は、浄水器等の使用状況及び管理責任等について説明し、使用についての承諾を得ること。

（その他）

4　浄水器等の設置に起因して問題が生じた場合は、申請者（所有者）が責任をもって解決すること。

様式サ（5.6 関係）

年　　月　　日

自己認証品使用報告書

米子市水道事業管理者　様

指定給水装置工事事業者
所　在　地
名　　称　　㊞
主任技術者
電 話 番 号

このたび、下記給水装置工事の施工にあたり、自己認証品を使用しますので、報告いたします。

給水装置	所在地	
	水栓番号（お客さま番号）	
工事申込者		

使用自己認証品			
品名	口径	型式	製造会社名

様式シ(5.6 関係　特殊器具取付に関する誓約書)

年　　月　　日

特殊器具設置誓約書

米子市水道事業管理者　　様

申　請　者　住所

(設置者)　氏名　　㊞

電話番号

指定給水装置工事事業者

所　在　地

名　　称　　㊞

主任技術者

電話番号

下記の特殊器具を設置したことにより、水圧低下や出水不良、水質の悪化等が発生しても異議の申し立てはせず、申請者の責任において解決し、これを理由に水道料金の滞納はいたしません。

また、水道本管へ悪影響を及ぼした場合は、申請者の責任において善処することを誓約いたします。

給水装置	所在地	
	水栓番号 (お客さま番号)	
器具等の型式名	製造元又は販売店名	

様式ス（5.2.3（4）①関係　造成地の所有権移転の確認書）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

宅地造成者

住 所

氏 名　　㊞

電 話 番 号

確　　認　　書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿地先の宅地造成に伴い、

分譲予定区画それぞれに、分岐管引込工事を先行して行いたく申請いたします。

なお、この引込管の所有権は、宅地取得者に移転することを確約します。

様式セ(5.3-1 関係　メーター設置に関する特例申請書)

年　　月　　日

メーターにおける特例設置申請書

米子市水道事業管理者　様

申　請　者 (設置者)	住所	
	氏名	㊞
電話番号		
水栓番号		
指定工事事業者 (説明者)	住所	
	名称	㊞
主任技術者		

別紙申込書図面のように給水装置工事の申込みをしましたが、本来、メーター設置場所は、地震、災害時の早期復旧を考慮し、家屋が倒壊した場合でも操作が行える位置(境界から1.5m以内の宅地側)に設けることと規定されていますが、配管上やむを得ないため、漏水修繕等の維持管理については当方でおこなうことを誓約し、下記の条件を承諾の上申請します。

記

(維持管理について)

1　給水条例第30条「メーターの貸与」の規定に基づき、適切な管理をおこなうこと。

(利害関係人への周知)

2　集合住宅等、申請者(所有者)以外の使用者がいる場合は、使用状況及び管理責任等について説明し、使用についての承諾を得ておくこと。

(その他)

3　規定外のメーター設置場所に起因して問題が生じた場合は、申請者(所有者)が責任をもって解決します。また、このことを理由に水道料金の滞納はしないこと。

(所有者の変更)

4　給水装置等の設置者(所有者)を変更するときは、この申請内容について譲渡人に継承すること。

様式第ソ号（第５条関係）

工事用水 水栓番号		受付	年　月　日	□設計書 □精算書
		着工	年　月　日	
年度	承認年月日	完成	年　月　日	
	年　月　日	工種	新設・改造・修繕・撤去・口径変更・臨時	
ふりがな		ふりがな		
申込者 氏名		使用者 氏名		
住所	（電話番号　　）	住所		

部屋番号	承認番号	水栓番号	型式	口径	メーター番号	指針

特記事項	種別	口径	金額(円)	検査員	検査日
	設計審査及び 工事検査手数料	×	× =		年　月　日
	加入者納付金	×	× =		

様式タ(2.1.2 関係)

決裁	課長	担当 課長補佐	合議	主査	受付

年　月　日

給水装置工事変更届出書

米子市水道事業管理者　様

米子市水道局指定給水装置工事事業者
所在地

名　称　　㊞

主　任
技術者

下記の給水装置工事について、別紙のとおり変更したいので、届け出ます。

記

工事場所			
給水申込者			
水栓番号			
着工年月日	年　月　日		
年度		承認番号	

＊変更設計図面を添付してください。

様式チ(10.2 関係)

給水管(分岐 ・ 撤去)工事 主任技術者チェック表

● チェック表は、本復旧までの工事記録写真帳に工事施工図(掘削・道路復旧予定図)とともに綴り込み、提出すること。

水 栓 番 号		施 行 主	
工 事 場 所			
施 工 日	年 月 日( )	チェック時間	: ～ :
道 路 占 用 No.	第 号 工事期間	年 月 日 ～	年 月 日
道 路 使 用 No.	第 号 使用期間	年 月 日 ～	年 月 日

チェック項目		評定
道路使用許可等	「掘削及び道路復旧予定図」(設計図)を携帯しているか、掘削位置に間違いはないか。	
	道路使用許可証を携帯しているか。	
	工事標示板・迂回標示板の記載内容は適正か。	
	「通行止め」実施時に、迂回標示板を設置しているか。	
	交通誘導員は道路使用許可条件どおりに配置しているか。	
	歩行者通路の確保は適正か。歩行者の誘導は適切に行なわれているか。	
掘削・復旧	カッターを使用しているか。掘削は所定の形状か。土留工は適正か。	
	覆工板のバタツキ、ズレ、段差はないか。	
	在来路面と仮復旧路面に段差が生じていないか。	
	仮復旧後、路側帯等の仮標示は適切か。	
せん孔・配管	管種(モルタルライニング管又は粉体塗装管)に応じた穿孔ドリルを使用しているか。	
	使用器材・配管材料は適正か。	
	穿孔状況(特に鋳鉄管の切粉の排出)は適正か。撤去状況は適正か。	
	コアの挿入は適正か。	
	配管状況及び埋設深度は適正か。	
	耐圧試験を行い、漏水がないことを確認したか。(分水から第一止水栓までは 0.75MPa)	
	給水管取り出し後、水質確認(残留塩素濃度測定)を行ったか。	
他	取り出し後、分岐及び仕切弁の位置、配管寸法・深度・掘削面積を実測し、記録したか。	
	工事区域の清掃は適切か。	

※ 評定は「○」印によりチェックする。なお、未施工等、評定に該当しない項目には「／」を記入する。

※ 不適正な場合、該当項目に「×」印を記入する。

※ 太枠線内の「穿孔・配管」は、主任技術者が必ずチェックすること。その他の項目は現場責任者でも可とする。

給水装置主任技術者

㊞

指定給水装置工事事業者名

様式ツ(10.2 関係)

給水装置工事　主任技術者チェック表

● チェック表は、給水装置工事完成届出書に添付して提出すること。

水　栓　番　号		施　　行　　主	
工　事　場　所			
施　　工　　日	年　　月　　日(　　)	確　　認　　日	年　　月　　日(　　)
完　　成　　日	年　　月　　日(　　)	チェック時間	:　　～　　:

	チェック項目	評定
設計との相違	メーター位置に相違はないか。	
	栓数の増減はないか。	
	特殊器具の増減はないか。	
	位置図に明記した施行場所に相違はないか。	
	配管ルートに相違はないか。	
給水工事の適否	精算図面の方角・縮尺・寸法は適正か。	
	使用器材や配管材料は適正か。	
	布設管の位置・埋設深度・延長は適正か。	
	布設管の接合方法は適正か。	
	逆流防止機器やバキュームブレイカーなどの設置は適切か。	
	貯水槽の設置は適正か。(吐水口空間の確保、越流管・水抜管の間接排水など)	
	クロスコネクションとなっていないか。(メーター及び残留塩素測定により確認)	
	給水管防護の方法は適正か。	
	給水装置の構造及び材質が、政令第 5 条及び米子市の施工基準に適合しているか。	
耐圧・水質	テストポンプで耐圧試験を行い、漏水及び変形等の異常はないか。	
	末端の吐水状況に異常がないか。	
	管末で遊離残留塩素を測定し、値に異常はないか。	
	水質(臭気・味・色・濁り)に異常はないか。	
写真管理	既設管との接続箇所	
	メーターまでの布設・配管状況	
	ヘッダー及びバルブ類(給水栓)付近	
	メーター位置(レバー開閉操作やメーター交換に支障がないこと)及びオフセット	
	その他(耐圧試験・残塩測定・露出配管・吐水口空間寸法等)	

※ 評定は「○」印によりチェックする。なお、未施工等、評定に該当しない項目には「／」を記入する。

※ 不適正な場合、該当項目に「×」印を記入する。

※ 太枠線内の「給水工事の適否」は、主任技術者が必ずチェックすること。その他の項目は現場責任者でも可とする。

給水装置主任技術者

㊞

指定給水装置工事事業者名

様式テ（2.1.2（5）第三者からの異議の申立てに関する誓約書）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

申　込　者　住所

氏名　　㊞

指定工事業者　住所

氏名　　㊞

誓　　約　　書

このたび、給水場所　　番地に給水装置工事を申込み、施工しますが，施工中または施工後において利害関係者その他の者から異議の申立てがあった場合には、申込者において解決し水道局に対して一切ご迷惑はおかけしません。

なお、未解決となった場合は直ちに工事を中止し、または施設を撤去し、原形に復することを誓約いたします。

様式ト（2. 4.2（5）既設未確認給水設備の破損事故に関する念書）

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　　様

住所

申込者

氏名　　㊞

念　　書

このたび、給水場所　　番地の自家用給水設備を給水装置に切替ますが、このことによって既設給水設備の破損により家屋等の損壊があっても、申込者の責任において修理し水道局に対し異議は申しません。

（市関係①）

道路占用許可申請書

（申請書）

新規	更新	変更	（　　） 年　月　日

米 子 市 長　　様

年　月　日

住 所

氏 名　　印

担当者

TEL

道路法第 32 条の規定により許可を申請します。

占用の目的				
占用の場所	路線名		車道・歩道・その他	
	場　所			
占用物件	名　称	規　模	数　量	
占用の期間	年　月　日から 年　月　日まで　間	占用物件の構造		
工事の時期	年　月　日から 年　月　日まで　間	工事実施の方法		
道路の復旧方法		添付書類		
備　考				

記載事項

1. 新規 更新 変更 については、該当するものを○で囲み、更新・変更の場合には、従前の許可書または回答書の番号及び年月日を記載すること。
2. 申請者が法人である場合は、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。
3. 「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が 2 以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。
「車道・歩道・その他」については、該当するものを○で囲むこと。
4. 変更の申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを（ ）書きすること。
5. 「添付書類」の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。

（市関係②）

申 請 番 号　　号

発米水給第　　号

年　　月　　日

米 子 市 長　　様

住　所

名　称

電　話

道 路 交 通 規 制 に つ い て（依 頼）

通行規制を実施することについて同意を受けたいので、次のとおり申請します。

路　線　名	
規制の場所	
規制の内容	1　全面通行止め
	2　車両通行止め（歩行者通路有効幅員　：　　m）
	3　片側通行止め（規制後う有効幅員　：　　m）
	4　幅　員　減　少（規制後う有効幅員　：　　m）
	5　その他
規 制 期 間	年　月　日から　年　月　日まで（内　日間） 1.（　時　分 から　時　分 まで）　2. 終日
規制の理由	
施　工　者	
現場責任者	（TEL　　）
発　注　者	
添 付 書 類	位置図・保安施設配置図（平面、断面）・迂回路図・確認書・許可書等写し・その他
備　　考	

・「現場責任者」の欄には、緊急時に連絡がとれて対応できる者を記入すること。

・「添付書類」の欄の迂回路図は、規制の内容が、全面通行止め等で迂回路が必要な場合に添付すること。 この場合、案内看板等の配置を示すこと。

・規制の期間において、規制を除く期間がある場合は「備考」欄に記入すること。（土曜・日曜は除く等）

・提出部数は 6 部（淀江地区は 7 部）とする。ただし、確認書の添付は 1 部でよい。

・緊急時を除き、規制開始予定日の 14 日前までに申請すること。

・本申請の同意後、米子警察署長に道路使用許可の申請を行うこと。

（交通規制に添付する確認書）

確　認　書

年　　月　　日

米子市水道事業管理者　様

自 治 会 長

住　所

氏　名　　㊞

水道管布設工事のため、当自治会区域内の道路占用工事実施について確認しました。

（添付図面）

位置図、 断平面図S＝1／50～1／100

（農道使用許可申請書については、この様式に準じて実行組合長の確認書を添付すること）

（市関係③）表

様式第４号（第６条関係）

法定外公共物各種届出書

年　　月　　日

米子市長　　様

住所
氏名　　㊞
電話番号
（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

次のとおり、法定外公共物に関する届出をします。

許可の種類	１　敷地の占用　２　工作物等の新設、改造又は除却　３　流水の使用 ４　産出物採取　５　掘削、盛土その他土地の形状の変更 ６　（　　）　※該当する番号を○で囲むこと
許可日（番号）	年　　月　　日　　発米管第　　号
許可期間	年　　月　　日から　　年　　月　　日まで
届出の種類	１　工事着手　２　工事完了　３　住所等変更 ※該当する番号を○で囲むこと
備考	工事完了届には図面（申請図書に出来形を赤書きしたもの）及び写真（着工前、完成及び施工中（特に不可視部分））を添付してください。
※　届出の種類が「１　工事着手」・「２　工事完了」の場合に記入	
施工場所	米子市　　地先　・　地内
工事着手年月日	年　　月　　日
工事完了(予定)日	年　　月　　日
工事施工業者	
工事現場責任者	
連絡先	

（市関係③）裏

※　届出の種類が「３　住所変更等」の場合に記入 （法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入）	
新　住　所　等	
新　氏　名　等	
旧　住　所　等	
旧　氏　名　等	

（県関係①）

様式第５（第四条の三関係）

道路占用 許可申請／協議 書

新規	更新	変更	（　　） 年　月　日

発米水給 第　　号
年　月　日

鳥取県西部総合事務所長 様

〒

住所

氏名　　印

担当者

TEL

道路法 第32条／第35条 の規定により 許可を申請／協議 します。

占用の目的				
占用の場所	路線名		車道・歩道・その他	
	場所			
占用物件	名称	規模	数量	
占用の期間	年　月　日から 年　月　日まで　間	占用物件の構造		
工事の期間	年　月　日から 年　月　日まで　間	工事実施の方法		
道路の復旧方法		添付書類		
備考				

記載事項

1. 許可申請／協議　第32条／第35条　及び　許可を申請／協議　については該当するものを○で囲むこと。

2. 新規／更新／変更　については、該当するものを○で囲み、更新・変更の場合には、従前の許可書または回答書の番号及び年月日を記載すること。

3. 申請者が法人である場合は、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。

4. 「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が２以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。
「車道・歩道・その他」については、該当するものを○で囲むこと。

5. 変更の申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを（ ）書きすること。

6. 「添付書類」の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。（添付図面）道路平面図 S=1/50,000　道路台帳平面図 S=1/1,000　断面図 S=1/50～1/100

（県関係②）

発米水給 第　　号
年　　月　　日

鳥取県西部総合事務所県土整備局長 様

米子市車尾南２丁目８番１号
米子市水道事業管理者
水道局長

道 路 通 行 規 制 に つ い て（ 依 頼 ）

年　　月　　日付鳥取県指令西県土維５第　　号で許可になった占用掘さく工事について、次のとおり通行規制のうえ実施したく思いますので、よろしくお願いいたします。

記

1 規制年月日
（ 時 間 ）　　年　　月　　日から
年　　月　　日まで
時　　分から　　時　　分まで

2 路 線 名

3 規 制 場 所　　市　　町　　番地先
郡　　村

4 規 制 種 類

5 理　　由

6 施 工 者　　住　　所
氏　　名
電　　話
現場責任者

7 そ の 他　　別紙図面のとおり

8 監 督 者　　米子市水道局
TEL 32－6111

（添付図面）
一般道路平面図 S＝1／50,000
道路台帳平面図 S＝1／1,000
断 平 面 図 S＝1／50～1／100
交通管理見取図 S＝1／100

（県関係③） 表

河川添架（伏越）等

許　可　申　請　書

発米水給 第　　号

年　　月　　日

鳥取県西部総合事務所長　　様

申 請 者　　住 所

氏 名　　㊞

別紙のとおり河川法第 24 条及び第 26 条の許可を

申請します

備考

1. 申請者が法人である場合においては、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。

（県関係③） 裏
河川添架（伏越）等

（工作物の新築、改築、除却）

1. 河 川 の 名 称

2. 目　　的

3. 場　　所

4. 工作物の名称又は種類

5. 工作物の構造又は能力

6. 工事の実施方法

7. 工　　期

8. 占　用　面　積

9. 占 用 の 期 間

備　考
1. 「（工作物の新築、改築、除却）」の箇所には、該当するものを記載すること。
2. 河川管理者以外の者がその権限に基づき管理する土地における工作物の新築、改築又は除却にあたっては、「占用面積」及び「占用の期間」については、記載しないこと。
3. 許可を受けた事項の変更の許可の申請にあたっては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項の許可の申請にあたっては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。

（県関係④）

国有土地（水面）使用許可願

1. 使　用　位　置

2. 使　用　目　的

3. 使　用　面　積

4. 使　用　期　間　　自　　年　　月　　日
　　至　　年　　月　　日

上記のとおり使用許可を国有財産使用及び産物採取規則（大正 15 年 1 月鳥取県規則第 2 号）第 1 条の規定により申請します。

発米水給 第　　号
年　月　　日

申 請 者　住 所
氏 名　　印

鳥取県米子地方県土整備局長　　様

添付図面

(1) 一般平面図（S＝$\frac{1}{50,000}$）使用する土地、水面の位置区域及び附近一般の現状を表示すること。
(2) 求積図（面積計算書）
(3) 工作物構造図（横断面図）
(4) 工作物設計書説明書
(5) 同意書（水路管理者、利害関係者、市町村長）
(6) 地形図（法務局）
(7) その他必要な図書

（県関係⑤）

様式第１号（その２）

港湾施設使用許可申請書

発米水給 第　　号
年　月　　日

様

申請者　郵便番号　□□□－□□□□
住　　所
氏　　名　　印
（担当者　電話番号
氏　　名　）

下記のとおり港湾施設を使用したいと思いますので、鳥取県港湾施設管理条例第３条の規定による許可を申請します。

記

新規・継続の別		新規　　継続
継続の場合の当初許可年月日等		年　月　日　鳥取県指令受　第　　号
港湾名		港
使用許可を申請する港湾施設の名称		
使用目的		
使用面積		平方メートル
使用期間		許可の日（又は　年　月　日）から　年　月　日まで
工作物の設置	設置区分	新（増）設　　既設
	工作物の名称種類及び構造	
	工事の実施方法	直営　　委託（委託業者の名称）
	工事の期間	着手　使用開始の日から　　日以内 完成　着手の日から　　日以内
その他（申請理由・経緯等）		
添付図書		位置図（縮尺　　） 平面図（縮尺　　） 構造図（縮尺　　）
※使用料		
摘要		

備考 1.「新規・継続の別」及び工作物の「設置区分」は該当分に○印を付けること。
2. ※印の欄は、記入しないこと。

(県関係⑥)境港管理組合道路申請

様式第２号

工作物設置(改築、移転、除去)許可申請書

発米水給 第　　号

年　月　日

境　港　管　理　組　合
港湾管理委員会委員長　様

申 請 者

住 所

氏 名　　㊞

工作物を設置(改築、移転、除去)したいので、次のとおり許可を申請します。

場所(港湾施設名)	
目的	
工作物の名称又は種類	
工作物の構造又は能力	
工事期間	年　月　日から　　年　月　日まで
使用面積	
使用期間	年　月　日から　　年　月　日まで
※使用料	
添付図書	1 位置図、 2 平面図、 3 求積図、 4 構造図、 5 横断面図、 6 縦断面図、 7 設計図、 8 仕様書(除去の場合は7、8は除く)
摘要	

備考　※の欄は、記入しないこと。

（県関係⑦）境港管理組合道路申請

様式第５号

工 事 着 手（完 成）届

発米水給 第　　号

年　月　日

境　港　管　理　組　合
港湾管理委員会委員長　様

届　出　人

住　所

氏　名　　㊞

工事に着手（工事を完成）したので、次のとおり届け出ます。

許可の年月日及び番号	
工事場所（港湾施設名）	
工作物の名称又は種類	
工作物構造又は能力	
工　事　期　間	年　月　日から 年　月　日まで　　日間
工　事　請　負　人	
摘　要	

（県関係⑧）

道路使用許可申請書

発米水給 第　　号
年　月　日

米 子 警 察 署 長 様

申請者　住 所
氏 名　　㊞

道路使用目的				
場所及び区間				
期　　間	年　月　日から　年　月　日まで			
方法又は形態				
添 付 書 類				
現　場 責任者	住 所			
	氏 名		電 話	

米交発　　号　　道路掘さく許可番号　　号

道　路　使　用　許　可　証

上記のとおり許可する。ただし次の条件に従うこと。

条　件	

年　月　日

米 子 警 察 署 長　㊞

備考 1. 方法又は形態の欄には、工事又は作業の方法、使用面積、行事等の参加人員、通行の形態又は方法等使用について必要な事項を記載すること。

2. 添付書類の欄には、道路使用の場所、方法等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に,その書類名を記載すること。

3. 申請者が法人であるときは、申請者の欄には、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を記載すること。

4. 用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４判とする。

（県関係⑨）区画整理事業中の道路掘さく申請

公共施設予定地使用許可申請書

下記のとおり、公共施設予定地を使用したいので、許可してくださるよう申請します。

年　　月　　日

様

住　所

申請者

氏　名　　㊞

記

1　使用する街路

2　使用する位置

3　使用する目的

4　使用する期間　許可の日から　　年　　月　　日まで

5　使用する面積及び延長

6　掘さく面積及び延長

7　工事予定時期　許可の日から　　年　　月　　日まで

8　工事の概要

9　掘さく後の復旧方法

10　その他

当該街路が道路法（昭和27年法律第 180 号）の道路として管理されることとなったときは、直ちに道路法第 32 条の規程による道路占用許可申請の手続きを行います。

（添付図面）　位置図、断平面図S＝1／50～100

その他①

オートロック解錠(変更)届

年　月　　日

米子市水道事業管理者　様

所有者等　住　所

名　称

氏　名　　㊞

(法人・団体の場合は代表者名)

電　話　　(　　)

集合住宅等の水道業務が円滑に行なえるよう下記のとおり解錠方法(変更)を届け出ます。

記

集合住宅等の所在地	
集合住宅等の名称	
解除方法	(該当する項目を〇で囲み必要事項を記入してください。) 1　暗証番号(“※”や“呼出”など詳しく) 2　連絡責任者が対応(現地で24時間対応できる場合) 3　専用鍵の無償提供(2個)
連絡先	(該当する項目を〇で囲み必要事項を記入してください。) 1　入居者が対応　　棟　　号室　　(TEL　　) 2　その他(管理人等)　　(TEL　　)

※　必ず 1～3 の解除方法での対応をお願いします。